

オンライン・システム ニュースレター

学術情報センター [〒112-8640 東京都文京区大塚 3-29-1]

目 録 情 報 課

図書目録情報係 TEL:03(3942)6983, 6984 FAX:03(3944)7131

雑誌目録情報係 TEL:03(3942)6985, 6986 FAX: 同 上

相互協力係 TEL:03(3942)6987, 6988 FAX: 同 上

共同利用課 TEL:03(3942)6933, 6934 FAX:03(3942)6797

システム管理課 TEL:043(285)4914, 4915 FAX:043(290)1380

目 次

1. 目録システムの中国語資料対応に伴う留意点	2
2. 目録システム夜間自動登録の運用開始	6
3. 学術雑誌総合目録欧文編 1998 年版冊子体の出版	8
4. 漢字インデクス付き個別版磁気テープの提供開始	9
5. 「総合目録データベースの品質管理」ビデオの刊行	10
6. 連載：総合目録データベースの品質管理事例集（その 1）	11
7. 目録システムマニュアルの電子化	19
8. 連載：新システム対応クライアント紹介（その 3）	20
9. 連載：目録所在情報サービスホームページ紹介（その 3）	22
10. 連載：NACSIS-ILL 利用統計（その 3）	24
11. 個別版 CD-ROM 提供サービス 平成 11 年度分募集	25
12. 会議開催報告	27
13. レコード調整	29

本誌は、次のホームページの目録担当者のページでも公開しています

<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/>

目録システムの中国語資料対応に伴う留意点

はじめに

目録システムの中国語資料対応については、本誌 No.65 (1998.12.25) で、基本的な考え方や移行計画の概要を紹介し、中国語資料取扱いの「検討案」を公開して御意見を募集しました。寄せられた御意見については、現在集計及び分析作業を行っているところです。

一方、「検討案」への御意見の他に、平成 12 年 1 月以降、各参加機関の図書館システムへの影響はどの程度なのか、登録業務がどのようになるのか等についての質問も、多く寄せられています。

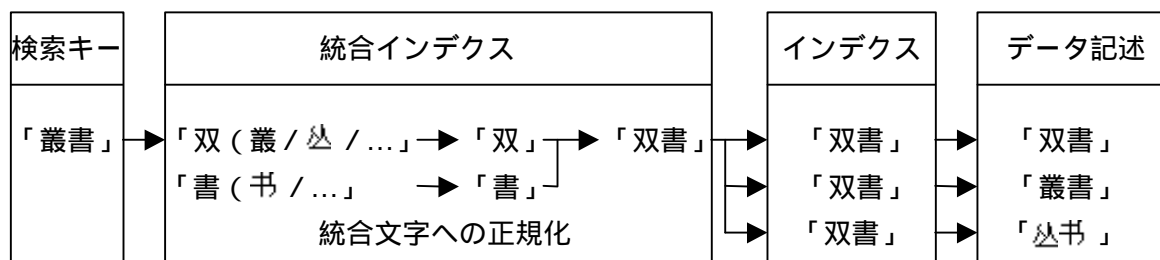
そこで、平成 12 年 1 月に目録システムのサーバに UCS が採用された場合に、これまでの図書館システムでの登録業務への影響として想定されるものを、1) 検索、2) 表示、3) データ入力の 3 点から紹介します (5 頁の参考図も参照してください)。これらについては、システムが開発中であること、さらには「検討案」が確定していないことから、今後、内容が変更される場合もありますので、その点はあらかじめおことわりしておきます。

なお、さらに質問のある方は、「検討案」への御意見と同様の方法で質問をいただければ、FAQ (準備中) や、本誌で紹介していきます。

1) 検索

中国語資料の場合、基本的に漢字形、日本語のヨミ、ピンインから検索できます。しかし、ピンインの入力を必須にすると登録時の負荷が高くなるため、入力選択項目としましたので、ピンインによる検索には、検索漏れの可能性があります。また、日本語のヨミも、本来外国語である中国語に対して与えるため、どのように規則を決めても、「ゆれ」が発生するのは避けがたいと考えられます。このため、再現率が最も期待されるのは漢字形ということになります。ただし、UCS の統合漢字部分には 20,902 字が含まれており、似た形や同じ意味の漢字が多くあります。

このことによる検索漏れを防ぐために、漢字統合インデックスを準備しました。これによって、登録データそのものは、資料に表示された文字がそのまま転記されますが、統合された文字によってインデックスが形成され、それによって検索されますので、重複レコード作成の主な原因の一つである検索漏れはなくなります。例えば、「叢書」を検索語にすると、サーバ上の登録データでは「双書」あるいは「丛书」となっている資料もヒットします。この検索は、下図のような手順で実行されます。



このように、日本語の異体字ばかりでなく中国語のものも検索されるなど、現在より多少ノイズが増えることになります。したがって、日本語のものだけ、中国語のものだけを検索したい場合は、言語コードとの論理積をとる必要があります。

2) 表示

サーバからクライアントにデータを転送する際、クライアントが対応している文字コードにあわせて、データを変換（エンコーディング）します。現在の CATP 仕様書では、エンコーディングとして、「JIS7」（JISX0201、X0208 及び EXC）にしか対応していませんが、「GB2312」（簡体字中心の文字セット）、「UTF8」（UCS の実装で最も普及しているもの）等にも対応するためのシステム開発を行っています。エンコーディングの際に、相手の文字セットに対応する文字がない場合は、その文字の UCS 番号の先頭に「U」をつけて、「」（黒菱）で囲んだ形にします。

先ほどの「叢書」等は、各クライアント向けのエンコーディングでは、次のようになります。

	双書	叢書	丛书
JIS7	双書	叢書	U4E1B U4E66
GB2312	双 U66F8	U53E2 U66F8	丛书
UTF8	双書	叢書	丛书

現行の目録端末は「JIS7」対応ですので、表中の「JIS7」のように変換され、そのまま表示されます。また、現在開発済である新 CAT / ILL クライアントも、同様に表示されることになります。しかし、今後開発されるクライアントにおいては、渡された文字列をどのように表示するかを、各クライアントで決めることができます。渡された形式のまま「」で囲んで表示する方法、システム外字として登録してある対応文字に置き換えて表示する方法、対応する文字の画像イメージを表示する方法等が考えられます。ただし、システム外字や画像イメージに置き換えた場合は、総合目録データベースの検索や更新のため、サーバへデータを転送する際には、元の「」で囲まれた形式に戻すことが必須となります。

なお、新設される「その他のヨミ」フィールドを表示するためには、新規に、これに対応したクライアントを準備する必要があります。現行 CAT の目録端末には、サーバからこのデータが送信されませんので、表示できません。新 CAT 対応クライアントについては、サーバ側でのフィールド新設への対応がどうなっているか、各メーカーに確認する必要があります。

3) データ入力

各目録端末及びクライアントで扱うことのできない文字のうち、UCS にあるものについては、「」で囲んだ形式で入力すると、サーバ上では対応する UCS コードに変換して登録することができます。UCS にない文字については、これまでと同様、大漢和辞典や広漢和辞典の検字番号を使う等の方法で入力することになります。

このため、中国語資料のうち、簡体字で表示されているものを登録するには、現行の「JIS7」対応クライアントでは、「」で囲まれた形式でのコード入力を行うことが多くなってしまいます。従って、この場合は、「GB2312」または「UTF8」に対応したクライアントが効率的です。

さらに、文字の入力方法等の環境を考えると、現在は「GB2312」に対応したクライアントが最も現実的なものといえます。学術情報センターでは現在、中国語 Windows や Solaris 環境で動作する「GB2312」に対応したクライアントを開発中で、このクライアントにより使い勝手や入力効率を調査することになっています。なお、「GB2312」には、カタカナが含まれていますので、日本語のヨミはそのまま表示されます。

データ入力の際に、もう一点注意しなくてはならないのは、現行 CAT やサーバ側のフィールド新設に対応できないクライアントでは、「その他のヨミ」フィールドが表示されないため、該当のフィールドにデータがあった場合、その書誌レコードを更新できない仕組みになっていることです。もちろん、単に書誌情報（「その他のヨミ」フィールド以外）を確認して所蔵レコードを登録することはできます。さらに、「その他のヨミ」は入力選択項目ですので、これを入力しないで書誌レコードを新規作成することも可能です。ただし、このように作成されたレコードに対して、「その他のヨミ」フィールドにデータの追加修正が行われると、作成館であっても現行 CAT や非対応クライアントからはその書誌レコードの修正ができなくなります。

なお、漢字統合インデックスが準備されるため、これまで新字体と旧字体との間で検索漏れが発生しないことだけを目的に入力されていた「その他のタイトル」については、作成する必要がなくなります。

「今昔文字鏡」,「ATOK」等の市販ソフトで UCS コー番号を調べることができます。

おわりに

以上のように、平成 12 年 1 月以降、目録システムのサーバが UCS に対応しても、現在使っている現行 CAT 対応の目録端末や新 CAT/ILL クライアントでの業務は、継続して行うことができます。ただし、中国語資料を扱う場合、検索ではあまり影響はありませんが、表示とデータ入力では、使い勝手の面でいくつかの問題が発生することが考えられます。学術情報センターとしても、これらの問題に対して可能な限りのフォローを検討していきますが、根本的な解決策は、中国語資料を扱う各参加機関が、UCS の採用を含む今回の目録システムの改訂に対応していただくことです。ぜひとも検討をお願いいたします。

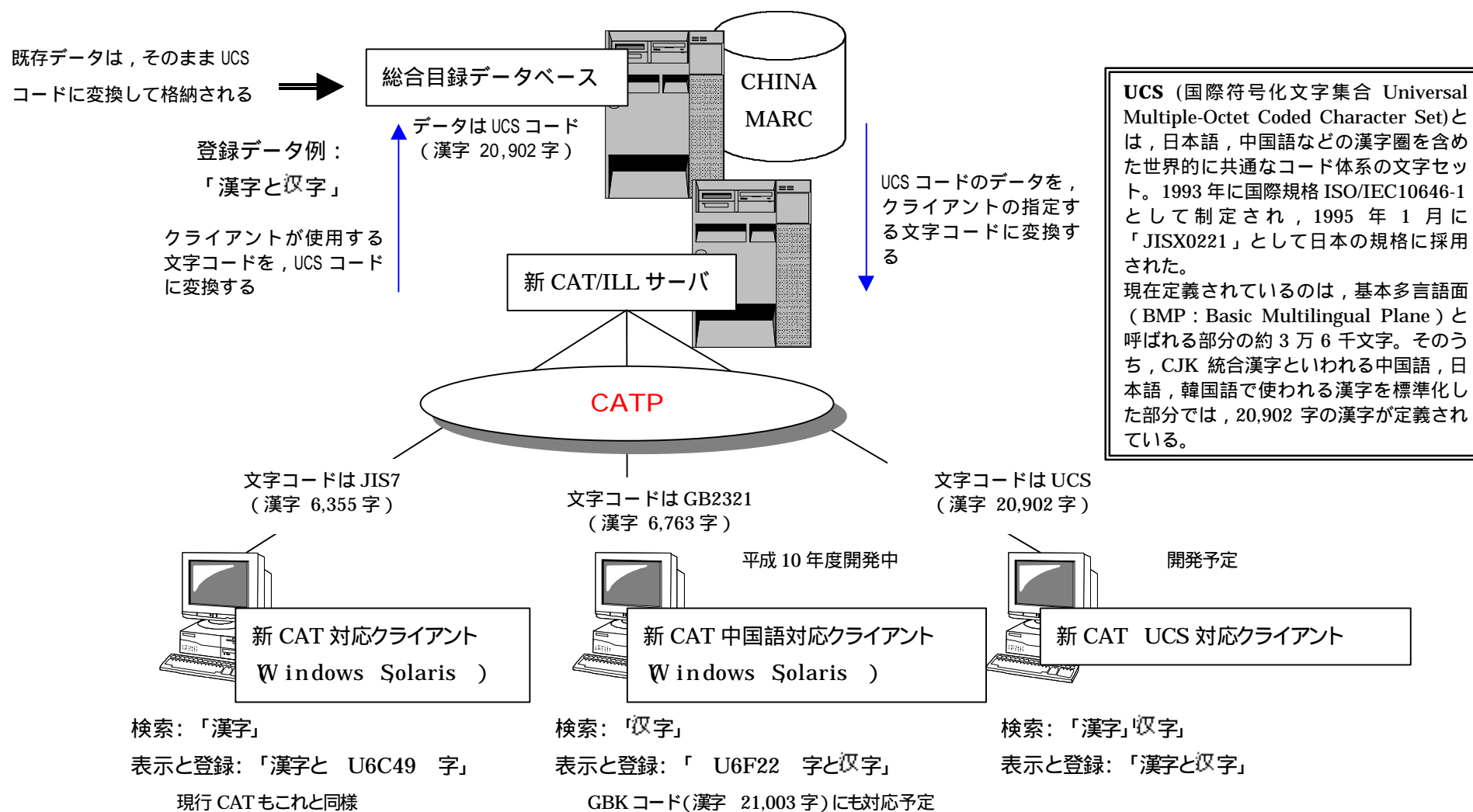
目録システムの中国語対応に関する御質問は、下記宛に FAX あるいは E-mail お願いします。

FAX 宛先： 学術情報センター，03(3944)7131

E-mail： catadm@op.nacsis.ac.jp

(参考図)

目録システムの中国語資料対応(漢字部分)の概要



目録システム夜間自動登録の運用開始

平成 11 年 3 月から、夜間に所蔵レコードの自動登録処理を実行できるよう、目録システムの夜間運用を開始します。

これは、夜間に新 CAT システムでの自動登録処理を実施したいとの、図書館側からの要望にお応えするためのもので、いくつかの大学に協力していただき、実現のための準備を進めていました。以下のよう
に実施いたしますので、利用を希望する場合は届出を行ってください。

1. 運用時間帯

	夜間運用時間帯
新 CAT システム	22:00 ~ 翌日 8:00(月～水) 22:00 ~ 翌日 2:00(金)
現行 CAT システム	22:00 ~ 翌日 2:00(月～水、金)

2. 自動登録の届出方法

- (1) 利用を希望する場合は、今回新たに作成した「目録システム自動登録届出書」(別紙)を事前に提出してください。
- (2) 届出状況に応じて、利用台数の調整をさせていただきます。
- (3) 利用の仕方や利用可能日については、折り返し学術情報センターから連絡いたします。

なお、従来の書式である「自動登録ソフト使用届出書」を提出している図書館については、学術情報センターであらためて新しい届出書を作成し、内容を再確認していただくようにします。個別に連絡をいたしますので、お待ちください。

3. 注意点

- (1) 上記の届出を行わないと、夜間の利用はできません。必ず、届出を行ってください。
- (2) 自動登録処理以外の利用はできません。

(図書目録情報係)

学術雑誌総合目録欧文編 1998 年版冊子体の出版

欧文編 1994 年版の改訂版にあたる学術雑誌総合目録欧文編 1998 年版冊子体を，平成 11 年 4 月に出版することになりました。

今回の欧文編 1998 年版冊子体の特徴としては，全体のページ数を抑えるために注記と異誌名の表示を取りやめたことがあげられます。また，利用の便を図るために，凡例，所蔵機関・サービス窓口一覧，サービス窓口略称索引は，別冊とする工夫を施しました。

書誌データをオンラインで報告した参加機関数は，欧文編 1994 年版の全国調査では全体の 24%でしたが，今回は 52%と半数を占めており，オンラインシステムの利用が，調査の度に増加している事が分かります。オンライン以外の方法による場合は，平成 10 年 3 月末までに報告いただいたデータを収録していますが，オンラインの場合は，平成 10 年 11 月までのデータを収録しています。

規格	:	A4 版，本体 6 分冊，別冊
総ページ数	:	総計 約 7,700 ページ
収録対象機関数	:	854 機関 (前回の欧文編 1994 年版に比べ，29%増)
収録データ数 (基本書誌)	:	約 128,000 件 (同，11%増)
収録データ数 (参照書誌)	:	約 28,000 件
収録データ数 (所蔵)	:	約 1,216,000 件 (同，16%増)
予定価格	:	本体 120,000 円 (税別)
出版者	:	丸善株式会社

1998 年版 CD-ROM は，冊子体の出版後に別途刊行する予定です。詳細については，決まり次第お知らせいたします。

今回の 1998 年版の編集にあたっては，平成 9 年 11 月の全国調査から，多くの図書館の方に御協力いただき，ありがとうございました。平成 11 年度からは，和文編 2000 年版の全国調査を開始する予定です。詳細なスケジュール等が決まりましたら，あらためてお知らせしますので，御協力のほどよろしくお願いします。

(雑誌目録情報係)

漢字インデクス付き個別版磁気テープの提供開始

平成 11 年 2 月から、総合目録データベースのサーバ移行の時点で新設した漢字インデクスを、個別版磁気テープに収録して提供するサービスを開始しました。従来の個別版サービスでは、漢字インデクスの提供はできませんでしたが、図書館で利用したいとの要望が強いために、対応することとしたものです。

1. 経緯

- (1) 従来、図書館データベースのインデクス作成は、個別版や目録システム画面データを取り込む時点で、図書館システム側で行っていました。タイトルや著者名のヨミなどは、単語単位に分かち書きされたデータが存在しており、それらのインデクス作成は比較的容易でした。
- (2) これに対し、総合目録データベースのサーバ移行時に新たに追加した漢字単語のインデクスは、学術情報センター独自開発の漢字切り出しプログラムにより作成したもので、図書館システム側で同等のものを作成することは困難でした。
- (3) 図書館側からこの漢字インデクスを利用したいとの要望がありましたが、従来の個別版磁気テープには各種インデクスが含まれていないため、提供することができませんでした。
- (4) 将来的には、漢字インデクスを含み CATP に準拠した形の新フォーマット個別版を開発する必要があると考えますが、それまでの暫定的な措置として、漢字インデクス付きの書誌ファイルを追加作成し、個別版と合わせて提供することとします。

2. フォーマットと収録データ

	従来の個別版	暫定対応の追加ファイル	新個別版 (今後開発予定)
フォーマット	B フォーマット	テキスト形式	CATP 準拠
収録データ	書誌 (インデクスなし) 著者名典拠 所蔵	書誌 (インデクスあり)	書誌 (インデクスあり) 著者名典拠 所蔵

3. 申し込み方法

- (1) 申請には、現在の「総合目録個別版提供申込書」を使用してください(本誌 No.58 に掲載)。漢字インデクスが必要である件は、備考の欄に記入してください。
- (2) その他は、従来の個別版の手続きと同じです。

(図書館目録情報係)

「総合目録データベースの品質管理」ビデオの刊行

学術情報センターでは、目録担当者の方々に総合目録データベースの品質管理に関する理解を深めていただくため、「総合目録データベースの品質管理」ビデオを作成しました。刊行に際して、このビデオ作成の目的と内容を簡単に紹介します。

1. 作成の目的

現在、総合目録データベースの増加件数は、図書書誌レコードが週平均で 10,000～13,000 件、図書所蔵レコードが 15 万件と、順調に増加を続けています。その一方で、年間 千件以上の重複レコード（書誌、典拠）の報告が寄せられており、学術情報センターでのレコード確認作業及び統合作業に多大な時間を要しています。また、本誌に掲載しているレコード調整の件数は年間 500 件以上あり、それ以外の図書館同士のレコード調整作業を含めると、各参加組織における品質管理作業の負担は、ますます重くなっています。さらに、重複レコードや記述の不正確なレコードがあると、Webcat や NACSIS-IR を通して総合目録データベースを利用する一般利用者にも、様々な影響を与えるという点も忘れてはなりません。

総合目録データベースの品質管理は、「レコード登録時の点検作業」「レコード利用時点での誤り発見」「学術情報センターによる品質管理」という 3 段階で行います（「目録情報の基準」第 3 版 3.4）。各段階での作業はそれぞれ重要ですが、レコードを新規に作成する時に十分な注意をはらって、重複レコードや記述の不正確なレコードを作成しないという「レコード登録時の点検作業」が何よりも大切です。従来、目録システム講習会では、このような品質管理の重要性について、まとまった時間を設けて説明していませんでした。今回、教材的なビデオを作成したので、品質管理について皆様に考えていただく一つの契機になればと思います。

2. 内容

このビデオでは、講習会を受講したばかりの目録担当者が、図書・雑誌の目録業務の中で直面した三つの問題を通して、先輩から次のような説明を受ける内容となっています。

- ・品質管理の必要性
- ・重複レコードや記述の不正確なレコードを作成しないための一般的な注意事項
- ・図書書誌レコードの品質管理の流れ
- ・雑誌書誌レコードの品質管理の流れ

作成したビデオは、今後目録システム講習会で使用するほか、各参加機関に送付する予定ですので、これを機に改めて品質管理への理解を深めてください。

また、品質管理の具体的な事例については、本号から連載する記事で解説しますので、この品質管理ビデオと併せて参考にしてください。

（図書目録情報係）

総合目録データベースの品質管理事例集（その１）

今回から、総合目録データベースの品質管理事例集として、実際にあった事例を紹介しながら、関連規則や関連する事例、品質管理上問題のあるレコードを発生させないための対策や発見したときの対応についての解説を行います。

本号で紹介した品質管理ビデオでは、品質管理の必要性や作業概要の説明が中心になりますので、具体的な対応についての参考資料としてこの事例集を活用してください。

第１回目は、図書書誌ファイルの重複レコードのうち、検索が十分でなかったことが原因と考えられる事例を集めました。次回以降、次のような事例について解説していく予定です。

- ・その他の原因による図書書誌レコードの重複
- ・親書誌レコードの重複
- ・雑誌書誌レコードの重複
- ・著者名典拠レコードの重複
- ・不正確な書誌記述

この事例集の中では、次のような略称で参照先の資料を示します。

基準 3	目録情報の基準．第 3 版
検索編 4	目録システム利用マニュアル．検索編．第 4 版
登録編 4	目録システム利用マニュアル．登録編．第 4 版
CM	目録システムコーディングマニュアル
抜刷集	オンライン・システムニュースレター抜刷集
NL	オンライン・システムニュースレター

1. 図書書誌レコードの重複（その1）

図書書誌の重複レコードのうち、検索が十分でなかったことが原因と考えられる事例について解説します。

総合目録データベースのヒット率は、現在、和書で 96%、洋書で 83%と高い割合を示しています。特に新刊本の場合は、極めて高い確率で総合目録データベースに収録されています。求めるレコードがヒットしなかった場合には、必ず検索キーを替えて何度か検索し直すことが、重複書誌レコードをなくすための最善策です。

(1) 字体の違い

☺（古いレコード）

☹（新しいレコード）

<p><BN*****1> GMD: SMD: YEAR:1963 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL: VOL: ISBN: PRICE:1800 円 TR:萬葉語研究 / 佐伯梅友著 マノヨゴ ケンキュウ PUB:東京 : 有朋堂 , 1963.4 PHYS:13, 318, 45p ; 22cm AL:佐伯, 梅友(1899-) サハ, ウメト <DA00312546> CLS:NDC8:911.124</p>	<p><BN*****2> GMD: SMD: YEAR:1963 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL: VOL: ISBN: PRICE:2000 円 TR:万葉語研究 / 佐伯梅友著 マノヨゴ ケンキュウ PUB:東京 : 有朋堂 , 1963 PHYS:318, 45p ; 22cm AL:佐伯, 梅友(1899-) サハ, ウメト <DA00312546> CLS:NDC8:810.23 CLS:NDC8:911.123 SH:NDLSH:万葉語 マノヨゴ //L</p>
--	---

事例の解説

タイトルの漢字形「万葉語」で検索したため、漢字の字体が違う「萬葉語」がヒットせず、重複レコードを作成したものと考えられます。

仮に情報源の表示が後の刷りで「万葉語」に変わったとしても、内容に改訂がなければ、字体の違いは新規レコード作成の根拠とはなりません。（ CM 0.4.1B3.1）

その他、以下の事項が異なっていますが、いずれも別書誌レコードを作成する根拠とはなりません。

- ・ 価格： 価格は最新の情報を記述することができるため、価格の有無や違いは別書誌レコード作成の根拠とはなりません。ただし、市販品と非売品の場合は、形態が異なることが多いため、別書誌とすることもあります。（ CM 2.1.13F1）
- ・ 出版月の有無： 月まで記録するかどうかは選択事項なので、別書誌レコード作成の根拠とはなりません。（ CM 2.2.3 H1）
- ・ ページ数の前付けの有無： 前付けと後付けを記録するかどうかは選択事項なので、別書誌レコード作成の根拠とはなりません。（ CM 53C5.2, cf. CM 0.4.1B6.1）

関連規則及び関連事例

- 字体は、転記の原則に従い、資料の情報源にあるがままの表記形を転記することになっています。（ CM 1.1.2A）
- JAPAN/MARC では、JIS 漢字コード体系の中に収まるように漢字の書き換えを行っているため、旧字体で記述すべきものが新字体になっている場合があります。この場合は、流用入力する際に記述を修正してください。（ 抜刷集 2.4.1A）(8)

対策

(検索時)

- 字体が問題になりそうな場合は、ヨミで検索したほうが安全です。

(登録時)

- 異なる字体のタイトルを VT フィールドに記述し、どちらの字体からも検索できるようにしておきます。

発見時の対処

- このような重複書誌レコードを発見した場合は、学術情報センターに報告してください。
(抜刷集 「2.5.2 重複レコード処理のしくみ」)

参考

- 漢字統合インデクス導入後は、目録システム側が字体の異なる漢字を自動的に検索しますので、検索の時点でのこのような問題はなくなります(平成 12 年 1 月導入予定)(NL66 「目録システムの中国語資料対応に伴う留意点」)

(2) ヨミの分かち書きのゆれ

☺ (古いレコード)

```
<BN*****3>
GMD: SMD: YEAR:1956 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn
ORGL:
VOL: ISBN: PRICE:380 円
TR:近代思想史論 : 近代化の思想構造 / 山崎正一
著||キンダイ ショウシロ : キンダイ カノ ショウ コゾウ
PUB:東京 : 東京大学出版会 , 1956.3
PHYS:3, 217p ; 18cm
PTBL: 東大学術叢書 || トウダ`イ カ`クシ`ユツ ソウショ
<BN01223684> 11//a
AL: 山崎, 正一 (1912-) || ヤマサ`キ, マサカス`
<DA0039348X>
CLS:NDC6:133.02
SH:NDLSH:西洋哲学 - 歴史 - 近世 || セイウテツガ`ク -
レシ - キンダイ//K
```

☹ (新しいレコード)

```
<BN*****4>
GMD: SMD: YEAR:1956 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn
ORGL:
VOL: ISBN: PRICE:380 円
TR:近代思想史論 : 近代化の思想構造 / 山崎正一
著||キンダイ ショウ シロ : キンダイ カノ ショウ コゾウ
PUB:東京 : 東京大学出版会 , 1956.3
PHYS:217p ; 18cm
PTBL: 東大学術叢書 || トウダ`イ カ`クシ`ユツ ソウショ
<BN01223684> 11//a
AL: 山崎, 正一 (1912-) || ヤマサ`キ, マサカス`
<DA0039348X>
CLS:NDC8:133
```

事例の解説

ヨミの分かち書きの仕方の「ゆれ」が原因です。

タイトルのヨミ「シソウ」「シロン」で検索したため、分かち書きが「シソウシロン」となっているレコードがヒットせず、重複レコードを作成したものと考えられます。

その他、以下の事項が異なっていますが、いずれも別書誌レコードを作成する根拠とはなりません。

- ・ ページ数の前付けの有無 : 前付け及び後付けを記録するかどうかは選択事項なので、別書誌レコード作成の根拠とはなりません。(CM 53C5.2, cf. CM 0.4.1B6.1)
- ・ 分類・件名の有無 : 選択事項であり、別書誌レコード作成の根拠とはなりません。

関連規則及び関連事例

- 分かち書きは、日本図書館研究会『目録編成規則』第2章「ワカチガキ」に準じます。(基準3「11.3.3 分かち書き」)

- ・ 「史」「論」のような接尾語は原則として分離せず、その前にある語とあわせて全体を一語としますので、「シソウシロン」が正しい形です。

- ・ 接頭語の場合も同様ですが、次の例のように、接頭語であっても書名の冒頭にあり、接頭語を除く残りの部分全体にかかるものは分離します。

☺ (古いレコード)

```
<BN*****5>
GMD: SMD: YEAR:1988 CNTRY:ja TTLL:jpn
TXTL:jpn ORGL:
VOL: ISBN:4254450087 PRICE:3500 円
TR:新家畜繁殖学 / 鈴木善祐 [ほか] 共著||
シ カク ハンショウガク
PUB:東京 : 朝倉書店 , 1988.3
PHYS:vii, 236p ; 22cm
:
```

☹ (新しいレコード)

```
<BN*****6>
GMD: SMD: YEAR:1988 CNTRY:ja TTLL:jpn
TXTL:jpn ORGL:
VOL: ISBN:4254450087 PRICE:3500 円
TR:新家畜繁殖学 / 鈴木善祐 [ほか] 共著||
シカク ハンショウガク
PUB:東京 : 朝倉書店 , 1988.3
PHYS:vii, 236p ; 21cm
:
```

- また、ヨミを参考にして漢字の単語単位のインデックスを作成しているため、漢字の単語単位のインデックスにも同様のゆれが生じることに注意が必要です。

対策

(検索時)

- 分かち書き規則を理解して、適切なヨミで検索してください。
- 分かちの判断に迷う語については、「シソウ＊」と前方一致機能を用いた検索が有効です。
- 分かち書きの仕方がわからない場合は、表記のままの漢字形で検索することも有効です。

(登録時)

- 分かち書きの判断がつかないような場合は、VT フィールドに異なる分かち書きのヨミのタイトルを記述しておくようにします。

発見時の対処

- このような重複書誌レコードを発見した場合、学術情報センターに報告してください。(抜刷集「2.5.2 重複レコード処理のしくみ」)

(3) ヨミの誤り・違い

☺ (古いレコード)

☹ (新しいレコード)

<p><BN*****7> GMD: SMD: YEAR:1949 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL: VOL: ISBN: PRICE:非売品 TR:日本碍子株式会社三十年史 / 日本碍子株式会 社編 ニホ ガ イ カ シ ガ イヤ サンジュウネンシ PUB:名古屋 : 日本碍子 , 1949.5 PHYS:195p ; 26cm NOTE:年譜: p156-169 AL:日本碍子株式会社 ニホ ガ イ カ シ ガ イヤ <> CLS:NDC8:544.13 SH:NDLSH:碍子 ガ イ//K</p>	<p><BN*****8> GMD: SMD: YEAR:1949 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL: VOL: ISBN: PRICE:非売品 TR:日本碍子株式会社三十年史 / 日本碍子株式会 社編 ニホ ガ イ カ シ ガ イヤ 30 年シ PUB:名古屋 : 日本ガ イ , 1949.5 PHYS:195p, 図版[5]p ; 27cm AL:日本碍子株式会社 ニホ ガ イ カ シ ガ イヤ <> CLS:NDC8:544.13 CLS:NDC7:544.13 CLS:NDC8:541.65</p>
--	--

事例の解説

タイトルのヨミ「30 ネンシ」で検索したため、「サンジュウネンシ」となっているレコードがヒットせず、重複レコードを作成したものと考えられます。

その他、以下の事項が異なっていますが、いずれも別書誌レコードを作成する根拠とはなりません。

- ・ 出版者の記述： 出版社の単純な名称の変更または相違は、別書誌レコード作成の根拠とはなりません。(CM 0.4.1B5.2)
- ・ その他の形態的細目の有無： その他の形態的細目(図版等)の有無は、別書誌レコード作成の根拠とはなりません。(CM 0.4.1B6.2)
- ・ 大きさの違い： 2cm 未満の大きさの相違は、別書誌レコード作成の根拠とはなりません。(CM 0.4.1 B6.3)
- ・ 分類・件名の有無： 選択事項であり、別書誌レコード作成の根拠とはなりません。

関連規則及び関連事例

- ヨミの表記は、NCR1987 年版改訂版の「第 部 標目付則 1 片かな表記法」に準じます。(基準 3 「11.3.2 ヨミの表記」)

- ・ この場合は、漢数字に該当するので、ヨミは「サンジュウネンシ」となります。
- ・ ローマ字や数字は、原則として、表示されているとおりをヨミとし、読むときの発音には従わないので、同様の注意が必要です。
- ・ 「ヅ」(ヨミは「ズ」とする)や「ヲ」(ヨミは「オ」とする)のように、カタカナの表記形とヨミの形が異なるものは、間違った形でヨミが記録されている場合もあります。
- ・ また、次のように、ヨミの判断が分かれる場合もあります。

<p><BN*****9> GMD: SMD: YEAR:1953 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL: VOL: ISBN: PRICE:320 円 TR:東京今昔帖 / 木村莊八著 トキヨウ ンシ ヲクシ ヨ PUB:東京 : 東峰書房 , 1953.12 PHYS:327p : 図 ; 19cm :</p>	<p><BN*****10> GMD: SMD: YEAR:1953 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL: VOL: ISBN: PRICE:320 円 TR:東京今昔帖 / 木村莊八著 トキヨウ ンシ ヲクシ ヨ PUB:東京 : 東峰書房 , 1953 PHYS:327p : 図版 ; 19cm :</p>
--	---

対策

(検索時)

- ヨミの表記規則を十分理解して、適切なヨミで検索してください。
- ヨミの表記に迷う語については、前方一致機能を用いて検索することが有効です。
- ヨミがわからない場合は、表記のままの漢字形かヨミの確かな語だけで検索することも有効です。

(登録時)

- 複数のヨミが考えられる場合は、VT フィールドに異なるヨミのタイトルを記述しておくようにします。

発見時の対処

- このような重複書誌レコードを発見した場合、学術情報センターに報告してください。(抜刷集「2.5.2 重複レコード処理のしくみ」)

(4) ISBN の有無・誤り

☺ (古いレコード)

```
<BN*****11>
GMD: SMD: YEAR:1978 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn
ORGL:
VOL: ISBN: PRICE:1854 円
TR:学級通信 : 子どもの未来にかけて / 三上敏夫
著||ガッキウ ユウシン : コトモ ノ ミライ ニ カケ
PUB:東京 : 明治図書出版 , 1978.3
PHYS:247p ; 19cm
PTBL: 生活指導選書 || セイカツ シトウ センショ
<BN01371331> 35//a
AL:三上, 敏夫(1925-)||ミガミ, トシオ <DA00844330>
CLS:NDC6:374.15
:
```

☹ (新しいレコード)

```
<BN*****12>
GMD: SMD: YEAR:1978 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn
ORGL:
VOL: ISBN:4188866063 PRICE:
TR:学級通信 : 子どもの未来にかけて / 三上敏夫
著||ガッキウ ユウシン : コトモ ノ ミライ ニ カケ
PUB:東京 : 明治図書出版 , 1978.3
PHYS:247p ; 19cm
PTBL: 生活指導選書 || セイカツ シトウ センショ
<BN01371331> 35//a
AL:三上, 敏夫(1925-)||ミガミ, トシオ <DA00844330>
CLS:NDC8:374.1
:
```

事例の解説

ISBN がレコードに記述されていないためヒットせず、重複書誌レコードを作成したものと考えられます。

その他、以下の事項が異なっていますが、いずれも別書誌レコードを作成する根拠とはなりません。

- ・価格：価格は最新の情報を記述することができるため、価格の有無や違いは別書誌レコード作成の根拠とはなりません。ただし、市販品と非売品は、形態が異なることが多いため、別書誌とする場合もあります。(CM 2.1.13F1)

関連規則及び関連事例

- 本来あるはずの ISBN を記録していない場合のほか、出版時に誤って付与された ISBN をそのまま記録した場合があります。

(間違った ISBN のレコード)

```
<BN*****13>
GMD: SMD: YEAR:1982 CNTRY:ja TTLL:jpn
TXTL:jpn ORGL:
VOL: ISBN:4337132155 PRICE:1200 円
TR:日本の自然 / 菊池家達著||ニホノシヅ
PUB:東京 : 国土社 , 1982.5
PHYS:110p ; 22cm
:
```

(正しい ISBN で別に作成したレコード)

```
<BN*****14>
GMD: SMD: YEAR:1982 CNTRY:ja TTLL:jpn
TXTL:jpn ORGL:
VOL: ISBN:4337046453 PRICE:1200 円
TR:日本の自然 / 菊池家達著||ニホノシヅ
PUB:東京 : 国土社 , 1982.5
PHYS:110p ; 22cm
:
```

対策

(検索時)

- ISBN でヒットしない場合は、必ず別の検索キーで検索し直してください。

(登録時)

- 誤って付与された ISBN であることが判明したら、それは XISBN に記録しておき、正しい ISBN とともに検索が可能ないようにしておきます。

発見時の対処

- このような重複書誌レコードを発見した場合、学術情報センターに報告してください。(抜刷集「2.5.2 重複レコード処理のしくみ」)

(図書目録情報係)

目録システムマニュアルの電子化

「目録担当者のページ」(URL: <http://www.op.nacsis.ac.jp/INFO/cat-user.html>)では、かねてから目録システムのマニュアル等を HTML 形式で公開していましたが、平成 11 年 2 月、下記の電子化マニュアル及び全文検索サービスを追加しました。これにより、現行の目録システムマニュアル全てを WWW で参照いただけるようになりました。

(1) 目録システム利用マニュアル(検索編 第4版, 登録編 第4版)

HTML 形式及び PDF 形式で公開しています。

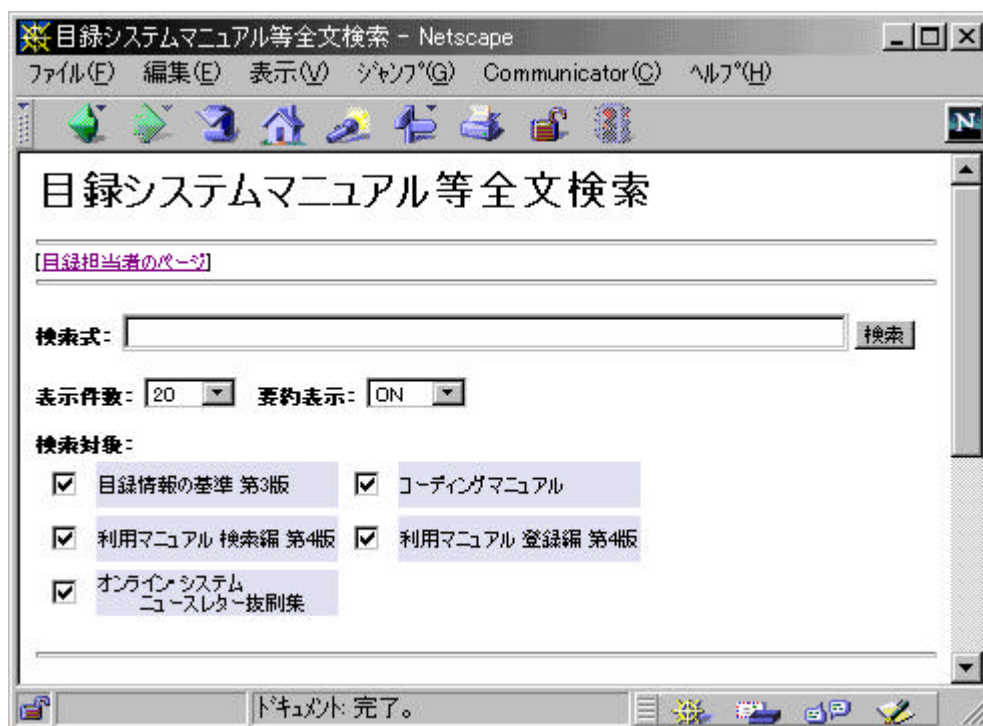
(2) 目録システムコーディングマニュアル(累積版)

HTML 形式及び PDF 形式で公開しています。

(3) 目録システムマニュアル等全文検索

HTML 形式で公開している目録システムマニュアル等(目録情報の基準, 目録システム利用マニュアル(検索編, 登録編), 目録システムコーディングマニュアル, オンライン・システムニュースター抜刷集)を対象とした, 全文検索ができます。検索の方法については, 「全文検索」のページを御覧ください。

目録システム・ ILL システムの最新のマニュアルは、今後とも電子化して公開しますので、担当の方々のオンライン・マニュアルとして御活用ください。



(図書目録情報係)

新システム対応クライアント紹介（その3）

連載第3回目の本号では、(有) M.B.A.の「MILAGRO」を紹介します。

1. MILAGRO

- (1) クライアント名称：MILAGRO
- (2) 開発：有限会社 M.B.A.
- (3) クライアントの種類：総合クライアント
- (4) 動作環境：Windows95, Windows98, WindowsNT
- (5) 運用開始：CAT（平成10年11月）ILL（平成10年11月）
- (6) 利用図書館（業務利用を開始している館）：名古屋女子大学，豊田工業大学ほか
- (7) 画面例(CAT)：

The screenshot shows the MILAGRO CAT interface. At the top is a menu bar with 'ファイル(F)', '編集(E)', 'オプション(O)', and 'ヘルプ(H)'. Below it is a toolbar with various icons. A row of buttons includes 'Giveup', 'Return', 'Download', 'Scan', and '自動処理'. The main form has fields for 'DBNAME', 'TITLE' (containing 'じょうほう かんり'), 'FTITLE', 'AUTH', 'AKEY', 'ISBN', 'ISSN', 'NDLCN', 'LCCN', 'NBN', 'RNWDT', 'YEAR', 'CNTRY', 'LANG', 'PUB', 'PLACE', 'SH', 'ID', 'PID', 'AID', 'UTID', 'DDC', 'NDC', and 'OTH'. A 'BOOK' status bar shows '1- 30/ 30'. Below the form is a list of search results, with the first one highlighted: '1. <BN00141176> 情報管理：情報と図書館の機械化 / 牛島悦子 [ほか] 共著. -- 樹村房. -- (図書)'. At the bottom is a row of buttons for '図書検索', '雑誌検索', '所蔵検索', '著者名典拠検索', '統一書名検索', 'タイトル変遷', '参加組織', and '相互貸借'. A status bar at the very bottom shows 'CAPS', 'NUM', and 'SCRL'.

(8) 特徴 (CAT)：

XUIP の画面遷移を継承し，コマンド名も従来のものを踏襲している。

ファイルの種類別にインデックスカードから選択し，業務を行う。相互貸借業務とも随時切り替え可能である。

各画面毎に使用可能なボタンが配置されており，それ以外にもコマンドを直接入力できるフィールドがある。

雑誌変遷マップを表示することができる。

(9) 画面例 (ILL):

milagro
ファイル(F) 編集(E) オプション(O) ヘルプ(H)

Giveup Return Download Form LookupLibrary Browse

DBNAME [] 1- 30/ 38

ID [] RNWDT []

BID AA00039544 FANO []

HLTV 36 HLYR 1985 CONT []

KENCODE [] SETCODE [] ORGCODE []

ILLFLG A COPYS A C LOANS []

FAXS [] STAT A GRPCODE []

1. <CA000022438X> <FA001302> 樽大 @
 2. <CA0000224390> <FA001641> 図情大 @
 3. <CA0000224459> <FA007750> 龍大深 @
 4. <CA000022446X> <FA002065> 横国大 図
 5. <CA0000224481> <FA002065> 横国大 社会
 6. <CA0000224492> <FA009144> 沖大 図書館
 7. <CA0000224506> <FA001787> 東大総 書庫参考
 8. <CA0000224517> <FA001889> 東学大 図
 9. <CA0000224528> <FA002054> 一橋統 @
 10. <CA0000224539> <FA005198> 慶大三 図書
 11. <CA0000224550> <FA005675> 中大 図

依頼先の選定
依頼先番号 1 3 5 7 9
[] 了解 [] 取消

依頼コードの作成 CAPS NUM SCRL

(10) 特徴 (ILL):

画面遷移はXUIPに準拠し、コマンド名も従来のものを踏襲している。

《注意事項》

- ・ 各クライアントは、新システムクライアントの特徴である図書館システムとの連携機能を持ちますが、各図書館の仕様に依拠して変更が加えられることがありますので、本連載では扱いません。
- ・ 検索項目、レコード表示仕様、検索対象ファイル等については、各利用者が設定できる場合が多いようですので、この部分についても言及していません。
- ・ 紹介するクライアントは、変更が加えられる場合もありますので、最新の情報については、各メーカーにお問い合わせください。

各メーカーの新システム対応クライアントの開発状況及び問い合わせ先は、以下のURLに常時掲載していますので、参考にしてください。

URL: <http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/newcat/ncat-maker.html>

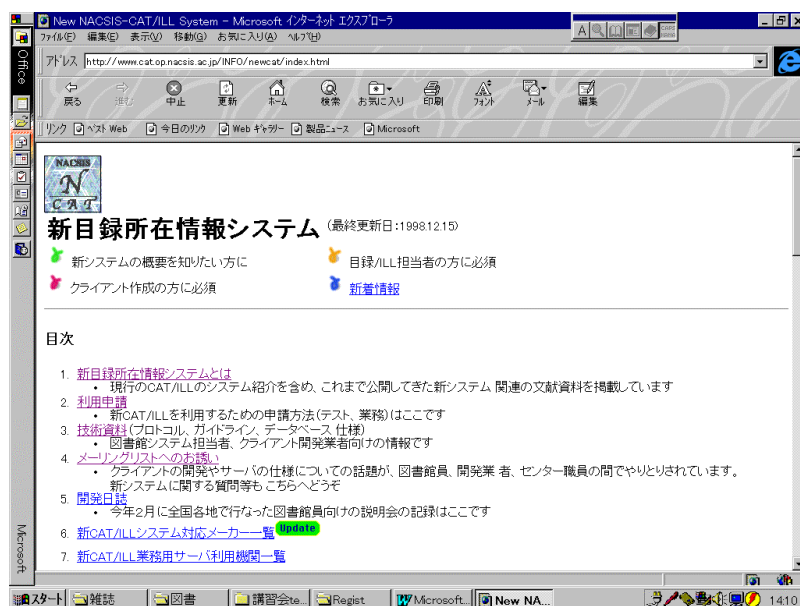
(図書目録情報係)

目録所在情報サービスホームページ紹介（その3）

「新目録所在情報システム」のページ

目録所在情報サービスホームページ(<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/>)紹介の第3回目では、「新目録所在情報システム」のページを紹介します（画面1）。

URL: <http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/newcat/index.html>



画面1 新目録所在情報システムのページ

学術情報センターでは、現行システムと併行して、1997年から新CAT/ILLシステムの運用を開始しました。このページでは、CAT/ILLシステムの利用者やクライアント作成に携わる人を対象として、新CAT/ILLシステムの概要や現状などの全般にわたる情報、クライアント作成のための技術資料等を掲載しています。

◆ 新目録所在情報システムの概要

過去の新CAT/ILLシステム説明会で使用した資料や、本誌No.64で紹介した「はじめての新CAT/ILL」などの広報資料を中心に、新CAT/ILLシステムの概要に関する資料を掲載しています。新システム導入の検討を始めるには、ここの資料を手始めにしてください。

また、新CAT/ILLシステムに寄せられた質問についても、質問と回答を掲載しています。

◆ 利用の申し込み

新CAT/ILLシステムの業務利用を開始する際は、この利用申請方法に従って、メールにより利用申し込みをしてください。

また、業務用とは別に用意した、システム開発のためのテスト用サーバ利用申請方法も掲

載しています。

◆ 技術資料

クライアント開発のための技術資料である「新 CAT クライアントのためのガイドライン」, 「新 ILL クライアントのためのガイドライン」, 「新 CAT/ILL システムサーバ実装仕様」, 「Cataloging information Access & Transfer Protocol (CATP/1.0) 仕様書」, 「CATP Application Program Interface(API) インターフェース仕様書」などを掲載しています。メーカーは無論のこと, 図書館でシステム開発をする際にも, 必ず参照してください。

本誌 No.65 で紹介した, 学術情報センタークライアント(体験版)へのリンクもあります。

◆ newcat メーリングリスト紹介

新 CAT/ILL システムに関するメーリングリストへの参加方法・脱会方法などを掲載しています。新 CAT/ILL システムに関する質問等は, こちらにお願いします。

◆ 新 CAT/ILL システム対応メーカー一覧

新 CAT/ILL システムを開発しているメーカーについて, 対応状況, システム名称, システムの動作環境, 問合せ窓口等を掲載しています。図書館システム導入の際の基礎資料として活用してください。

◆ 新 CAT/ILL システム業務用サーバ利用機関一覧

新 CAT/ILL システムを利用して業務を行っている機関について, 利用開始日, クライアント名, 端末台数を掲載しています。新システムの普及状況を知ることができます。

◆ 学術情報センターサービスシステムのオープンシステム移行計画

新 CAT/ILL システム説明会や「はじめての新 CAT/ILL」でも紹介している, 学術情報センターサービスシステムのオープンシステム移行計画表を掲載しています。新 CAT/ILL 対応システムへ移行するスケジュールを考える際の前提としてください。

◆ CATP 対応自動所蔵登録クライアント「CATP-Auto」について

新目録システム対応の自動所蔵登録クライアント「CATP-Auto」の概要を紹介しています(東京学芸大学附属図書館, 村田氏作成)。CATP-Auto の詳細については, 国立大学図書館協議会のホームページ(<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/anul/index.html>)で公開する予定です。

今回までで, 目録所在情報サービスホームページの主要ページの紹介が終わりました。次回は, 今までの紹介以降に行った変更等を紹介して, 連載を完了する予定です。

(図書目録情報係)

NACSIS-ILL 利用統計（その 3）

今回は、複写・貸借依頼の入手率と充足率を紹介します。

複写では、NACSIS-ILL 参加館からの入手が 93～95%，国立国会図書館（NDL）からの入手が約 1～2%で、NDL、BLDSC 等の外部依頼機関からの入手率が若干上がってきています（図 1）。また貸借では、NACSIS-ILL 参加館からの入手が 78～83%，外部依頼機関からの入手が 3～5%で、参加館からの入手率が上がる傾向にあります（図 3）。

CANCEL 率は、複写で横ばいの 5%ですが、貸借では 20%から 13%へと減少し、充足率が上がってきています。この充足率の上昇と貸借依頼件数自体の大幅な増加（図 4）の理由の一つとして、参加館における目録データの遡及入力が進んできたことがあげられます。

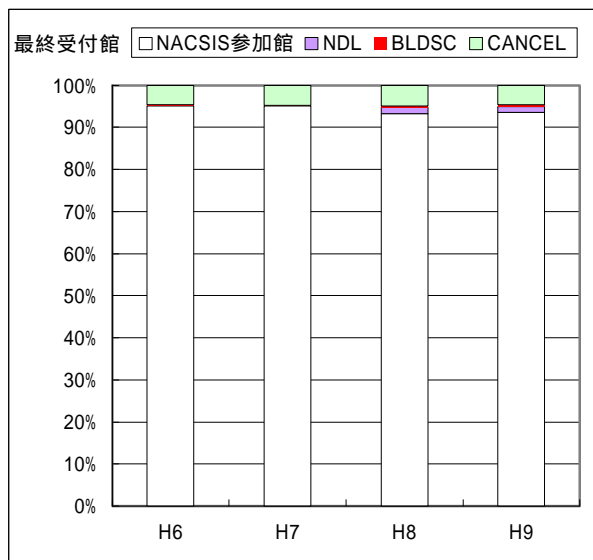


図 1. 複写充足率

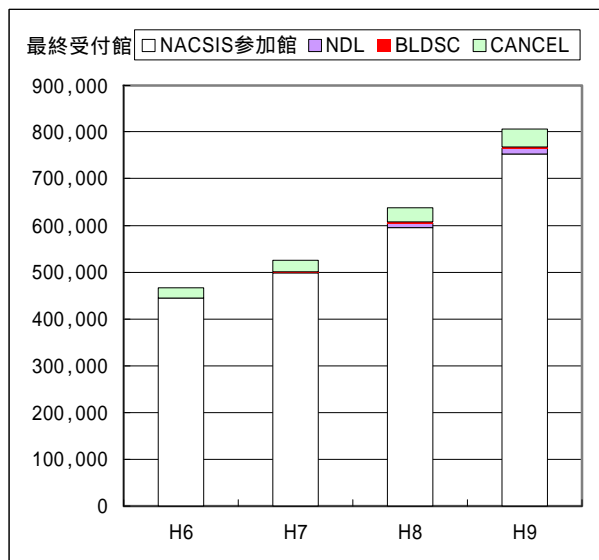


図 2. 複写依頼件数推移

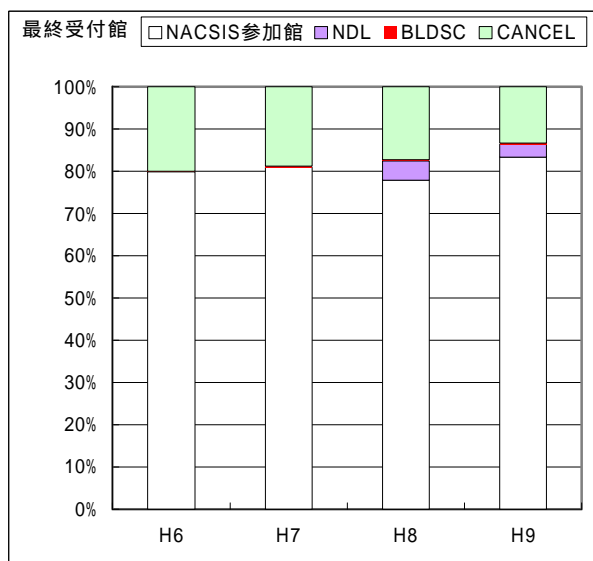


図 3. 貸借充足率

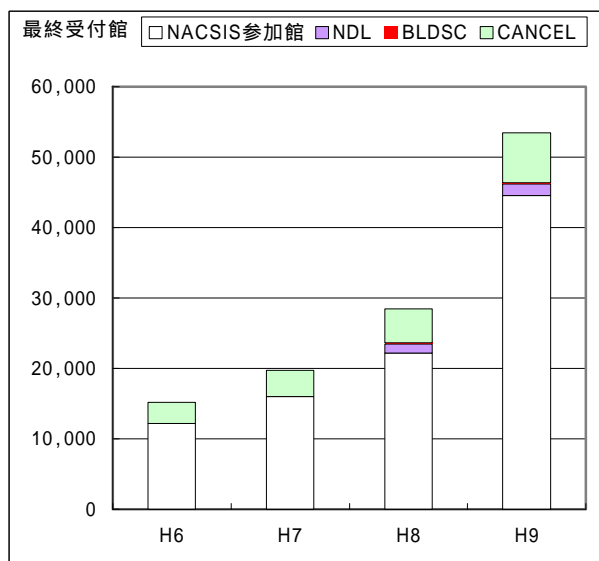


図 4. 貸借依頼件数推移

（相互協力係）

個別版 CD-ROM 提供サービス 平成 11 年度分募集

以下の要領で、「個別版 CD-ROM 提供サービス」の平成 11 年度分を募集します。個別版 CD-ROM のサービス内容については、次の URL を御覧ください。

URL: <http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/kobetsu-cd/kobetsu-cd-rom.html>

1. サービス提供条件

1) 対応機種及び OS

- NEC・9801VX 以降に発売された PC・98 シリーズで MS・DOS バージョン 3.3 以上
- IBM・PC またはその 100%互換機で DOS/V バージョン 5.0 以上

2) 対象機関

- 目録所在情報サービスの参加組織（学総目参加機関を含む）

3) 収納対象

- 総合目録データベースに登録された図書・雑誌の書誌・所蔵データ
- 図書のみ、雑誌のみでも受け付けます
- 和洋別の作成はできません

4) 作成単位

- 単一の参加組織、またはいくつかの参加組織からなるグループ（機関全体や大学と短期大学の集合など）。ただし、後者の場合はグループに属する全ての参加組織の同意が必要です
- 他の機関の参加組織を含めたグループも可能ですが、この場合は、対象機関の同意書〔別紙 4〕が必要です
- 配置コード単位でも作成できる場合があります

5) 収納件数

- 上記作成単位の平成 11 年 3 月末現在の収納所蔵件数の合計が 12 万件を限度とします

6) 提供頻度

- 年 4 回、または年 1 回

7) 提供セット数

- 同一の CD-ROM を最大 5 セットまで

8) 提供時期

- 受諾書において個別に通知します。
- 年 1 回提供の場合は、おおむね 7 月～ 8 月です
- 年 4 回提供の場合の第 1 回提供は、おおむね 5 月～ 6 月です

9) 提供価格

対象件数	1 セット単価	2 ～ 5 セットの単価
3 万件以下	1 0 , 0 0 0 円	5 , 0 0 0 円
6 万件以下	2 0 , 0 0 0 円	1 0 , 0 0 0 円
9 万件以下	3 0 , 0 0 0 円	1 5 , 0 0 0 円
1 2 万件以下	4 0 , 0 0 0 円	2 0 , 0 0 0 円

(注1) 対象件数は、平成 11 年 3 月末現在の収納所蔵件数

(注2) いずれも 1 セットあたりの消費税込みの価格です

(注3) 例えば、作成対象件数が 3 万件的機関が年 4 回 (5 セット) 申し込む場合、

$$4 \times (10,000 + 5,000 \times 4) = 120,000$$

で、12 万円となります

10) CD-ROM の保証期間

- 提供する CD-ROM については、通常の使用で一年間保証します。通常の使用で障害が生じた場合は、一年以内であれば無償で交換します

2. 申込締切

平成 11 年 4 月 30 日 (金) 必着。

3. 申込方法

以下の方法で申込書を配布しております。

- URL: http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/kobetsu-cd/application_form.pdf
(PDF 形式ファイル)
- オンライン・システムニュースレター No.62
- 下記問い合わせ先に FAX で請求してください (電話は御遠慮ください)

申込書に記入の上、下記の問い合わせ先へお送りください。

* 他機関との合同作成でない場合は、同意書 [別紙 4] は不要

4 . 問い合わせ先

〒112-8640 東京都文京区大塚 3-29-1

学術情報センタ - 事業部目録情報課相互協力係 気付

財団法人 電気・電子情報学術振興財団

電話 : (03)3942-6987 , 6988 (直通)

FAX : (03)3944-7131

(相互協力係)

会議開催報告

平成 10 年度第 2 回 総合目録小委員会

[日時]

平成 11 年 2 月 4 日 (木) 10:00 ~ 12:00

[議事]

1. 総合目録小委員会の活動計画について
2. 「中国語資料の取扱い(案)」への意見について
3. 総合目録データベースにおける電子ジャーナルの取扱いの検討について
4. その他

総合目録小委員会には、平成 10 年度総合目録委員会から以下の事項の検討が付託された。

1. 多言語対応目録システムの運用について
 - (1) 中国語資料データベース化の継続検討
 - (2) 韓国・朝鮮語資料の取扱いについて
2. 目録情報の入力基準について
 - (1) ネットワーク上の情報資源の取扱い
 - (2) コーディングマニュアルの整備
著者名典拠レコード(日本名以外:個人名)
図書書誌レコード(親書誌)
3. ILL システムの運用について

「ネットワーク上の情報資源の取扱い」は前年からの継続検討事項で、差し当たり電子ジャーナルに限定した取扱いを検討することを確認した。

付託された各事項について、今後は各事項の作業班に分かれて、原案の作成と検討を進めることとした。

平成 10 年度の総合目録委員会及び総合目録小委員会の委員は、以下のとおりです。

総合目録委員会委員名簿（平成 10～11 年度）

氏 名	所 属 ・ 役 職 名
雨 森 弘 行	東京大学附属図書館事務部長
上 田 修 一	慶應義塾大学文学部教授
岡 田 三 夫	国立国会図書館図書館協力部国内協力課長
勝 村 哲 也	京都大学人文科学研究所附属東洋学文献センター教授
関 善 一	東京都立中央図書館資料部収書整理課長
高 橋 柏	京都大学附属図書館事務部長
永 田 治 樹	図書館情報大学図書館情報学部教授
原 田 悟	慶應義塾大学三田メディアセンター事務長代理
平 塚 悦 子	跡見学園女子大学短期大学部図書館図書課主任
細 貝 正	横浜市立大学図書館事務長
山 崎 久 道	宮城大学事業構想学部デザイン情報学科教授
井 上 如	学術情報センター副所長
宮 澤 彰	" 研究開発部教授（主査）
影 浦 峯	" " 助教授
神 門 典 子	" " 助教授
柿 本 幸 治	" 事業部長

総合目録小委員会委員名簿（平成 10～11 年度）

氏 名	所 属 ・ 役 職 名
尾 城 孝 一	東京工業大学附属図書館情報サービス課電子情報係長
忽 那 正 典	京都大学文学部整理掛
合 田 晃 一	東京大学東洋文化研究所図書室図書第二掛長
佐々木 光 子	北海道大学附属図書館情報システム課目録情報掛長
鈴 木 裕 子	アジア経済研究所図書資料部整理課
瀬戸口 洋 子	大阪大学附属図書館吹田分館目録情報掛長
高 野 真理子	日本女子大学図書館情報サービス課参考係
原 直 実	慶應義塾大学三田メディアセンター図書館情報サービス担当係主任
山 本 淳 一	筑波大学学校教育事務部教務課図書資料係長
若 山 安 徳	麗澤大学図書館事務長
渡 辺 隆 弘	神戸大学附属書図書館情報管理課雑誌掛
宮 澤 彰	学術情報センター研究開発部教授
影 浦 峯	" " 助教授（主査）
牧 村 正 史	" 事業部目録情報課課長
酒 井 清 彦	" " 課長補佐
富 田 健 市	" " 目録専門員
米 澤 誠	" " 図書目録情報係長
鵜 澤 和 往	" " 雑誌目録情報係長
相 原 雪 乃	" " 相互協力係長

（図書目録情報係）